

誰もが求める人と人とのつながり

～映画「^{とな}隣る人」から人に寄り添う意味を考える～

様々な事情で、家庭での日常を過ごすことができない子どもたち。そんな子どもたちに寄り添い続ける児童養護施設「光の子どもの家」の保育士と、子どもたちとの日常を追ったドキュメンタリーを鑑賞いただきます。そして、日本の社会福祉の先駆的な「感化院」施設（現児童自立支援施設）を創設した留岡幸助の理念を受け継ぐ児童養護施設「東京家庭学校」の松田施設長をお迎えして対談を行います。

どんな状態であっても自分を丸ごと受け止め、愛情を注いでくれる人がそばにいてくれるということの幸せ。実はそれは、子どもだけでなく大人も同じかもしれません。家族のつながり、人と人とのつながりの希薄化が問われる昨今、優しい眼差しにあふれた映画から、家族とは何か、人に寄り添うとはどういうことか、と一緒に考えたいと思います。

日時：2016年12月26日（月） 18:45（開場） 19:00～21:30（上映・対談）

会場：日比谷図書文化館 スタジオプラス（小ホール）（住所・地図は裏面参照）

参加費：2,000円（当日受付にて現金でお支払いください）

※ お申し込み方法・詳細は裏面参照

対談『子どもに寄り添うということ』

話し手：松田 雄年（まつだ・たけとし）氏（児童養護施設 東京家庭学校 施設長）

聴き手：高橋 陽子（公益社団法人 日本フィランソロピー協会 理事長）

隣る人
never let me go.

親と暮らせない子どもたちと、隣り合う保育士たち。
そして、子どもとふたたび暮らすことを願う親。
ある児童養護施設の日常を追う8年間のドキュメンタリー。

刀川 和也 監督作品

企画：稲塚 由美子 撮影：刀川 和也・小野 さやか・大澤 一生 編集：辻井 深 構成：大澤 一生
プロデューサー：野中 章宏・大澤 一生 製作・配給：アジアプレス・インターナショナル
日本/2011/SD/カラー/日本語/85分/ドキュメンタリー

山形国際ドキュメンタリー映画祭ニュー・ドックス・ジャパン部門招待作品

文部科学省選定（青年向き・成人向き）

厚生労働省社会保障審議会 特別推薦

第9回文化庁映画賞・文化記録映画部門大賞

第37回日本カトリック映画賞

誰もが求める人と人とのつながり

～映画「隣^{とな}る人」から人に寄り添う意味を考える～

【日時・場所・スケジュール】

日時： 2016年12月26日(月) 19:00～21:30 (18:45 開場)
＜プログラム＞

- 18:45～19:00 開場、受付
- 19:00～20:25 映画『隣る人』上映
- 20:25～20:30 休憩
- 20:30～21:15 対談『子どもに寄り添うということ』
- 20:15～21:30 Q&A

会場： 千代田区立日比谷図書文化館 スタジオプラス(小ホール)
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4

- ・ 東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分
- ・ 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分
- ・ 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分
- ・ JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分



(出所) <http://hibiyal.jp/hibiya/access.html>

ご注意： 終了が遅い時間ですが、小ホール内でのお食事はできませんので、ご注意ください。
ペットボトル・水筒などフタつきの飲料は、小ホール内にお持ち込みが可能です。

【お申し込み方法】

お申し込みは、ウェブサイト、またはFAX にて、事前に受け付けております。
なお、当日参加も可能ですが、満席の場合は、事前のお申し込みの方を優先させていただきます。

- ① ウェブサイトからのお申込み：<http://www.philanthropy.or.jp/seminar/325/>にてお申込み下さい。
- ② FAXによるお申込み：以下に記入の上、こちらの面を **FAX送信先: 03-5205-7585** へお送り下さい。

お名前 (フリガナ)	
Email	
電話番号	
種別 (○をつける)	日本フィランソロピー協会 (JPA) 会員 / 一般 / 学生
所属企業名・ 団体名・学校名	
この催しをどこで 知りましたか (○をつける)	社内の案内 / JPAからの案内 / その他 []

注：お申し込みの際にいただく個人情報は、参加者名簿の作成、および、当イベントの運営上、必要なご連絡以外の目的には使用いたしません。

【児童養護施設 東京家庭学校について】

「不良少年更生の父」と呼ばれる留岡幸助氏により、キリスト教精神に基づいて1899年民営の感化院として巣鴨に創設された児童福祉施設。1948年児童福祉法施行により、養護施設となる(北海道の分校は、現北海道家庭学校として運営されている)。現在は東京都杉並区において、完全小舎制全調理の生活単位を6名として、本体施設では幼児寮1寮と学童寮3寮、3分園(グループホーム)、そして青梅にある都立誠明学園との提携型グループホーム2分園で、より地域に根ざした家庭的な養護を実践し、子どもたちとの信頼関係に裏打ちされた対等で尊重し合える人間関係の中で、自立していくことを支援している。ホームページ: <http://katei-gakko.jp/>

【主催者 公益社団法人 日本フィランソロピー協会について】

会長：浅野史郎、理事長：高橋陽子。1963年設立。会員数(2016年11月現在)：企業会員116社、個人会員87名。
民間による公益活動の推進をめざし、企業・行政・NPOなどとの連携の下、企業のCSR・社会貢献事業の推進、プログラム開発、出版、研修等を行う。

【当イベントについてのお問合せ】 公益社団法人 日本フィランソロピー協会

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244区 / TEL 03-5205-7580 / <http://www.philanthropy.or.jp>